

業務の実績に対する事前質問への回答

報告書 ページ	質問内容	回答
19	インシデント及びアクシデントの報告件数が 3,439 件（合併症報告を含む）で対前年度：764 件増とかなり増えているが、理由は何か。	<ul style="list-style-type: none"> ・インシデント報告は患者への影響が出ていない低レベル事象（0～1 レベル）の報告を増やすことが医療事故の低減に繋がるとされています。 そのため当館では微細レベルの事象についても報告するよう徹底した取り組みを行っています。
46	医師の働き方改革が始まったが、対応状況はどうか。（円滑に運営できているか。）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 6 年 4 月から医療機関に勤務する医師の時間外・休日労働時間は、原則として年 960 時間が上限となるが、これを上回る時間外・休日勤務を行わせる必要がある場合は、都道府県知事から「特定労務管理対象医療機関」として指定を受ける必要があり、当館においても、佐賀県、佐賀県医療勤務環境改善支援センターの支援を受けながら、令和 5 年 6 月に令和 6 年度から令和 8 年度までの医師労働時間短縮計画書を作成した。その後、医療機関勤務環境評価センターから「医師の労働時間短縮に向けた医療機関内の取組は十分に行われており、労働時間短縮が進んでいる」との評価を受け、令和 6 年 3 月に佐賀県から「特定労務管理対象医療機関」（特定地域医療提供機関（B 水準）、技能向上集中研修期間（C-1 水準））の指定を受けたところである。 ・現在は、4 月からの「医師の働き方改革」に関する法律の施行を受け、上記の「医師労働時間短縮計画」の確実な実施等に向け、各種取組を行っている。各種取組の状況等については、理事長、館長、副館長、統括診療部長、事務部長等からなるワーキンググループを原則週 1 回開催して共有するほか、必要に応じて対応策を検討しており、円滑に運営することができている。 <p>（以下、取組の一例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医師の働き方改革に関する研修の実施 ○医師の健康確保のため、勤務間インターバル等に配慮した勤務計画の作成 ○医師が行っている業務のうち、医師以外の医療関係職種が実施可能な業務については、厚生労働省が特に指定する業務（看護師による特定行為の実施や薬剤師による事前プロトコルを用いた医師の業務負担軽減等）を中心に、他職種（看護師、臨床検査技師、理学療法士、医療事務作業補助者等）が担うことができるようタスク・シフト／シェアの推進

報告書 ページ	質問内容	回答																																			
		<p>○複数主治医制（一人の医師が抱え込むのではなく、複数の医師が対応できる体制／夜間や休日は当番医が担当し、特定の医師が対応しなくてもよい体制／複数の医師で患者の情報を共有できる体制）の拡大</p>																																			
47	<p>コロナ禍で患者数や手術件数などが減ったと思うが、その後回復しているか。回復していない場合、その理由はどういうものが考えられるか。</p>	<p>・コロナ禍前後での各件数については次のとおりです。</p> <table border="1" data-bbox="1077 376 2107 612"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>①R元年度</th> <th>②R2年度</th> <th>③R3年度</th> <th>④R4年度</th> <th>⑤R5年度</th> <th>⑤-①比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延入院患者数</td> <td>139,900人</td> <td>122,189人</td> <td>134,128人</td> <td>141,695人</td> <td>143,082人</td> <td>3,182人</td> </tr> <tr> <td>延外来患者数</td> <td>178,261人</td> <td>157,203人</td> <td>169,648人</td> <td>173,296人</td> <td>172,287人</td> <td>-5,974人</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>134.2%</td> <td>150.3%</td> <td>140.8%</td> <td>146.3%</td> <td>157.6%</td> <td>23.4%</td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>5,910件</td> <td>5,144件</td> <td>5,408件</td> <td>5,668件</td> <td>5,896件</td> <td>-14件</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表は令和元年度以降5年間での患者数及び手術件数等の推移です。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行初期のため、各項目の数値が大きく減少する結果となりましたが、以後は各年度において緩やかに回復傾向にあります。 ここで令和元年度をコロナ禍前の基準として令和5年度実績と比較しました。 延入院患者数については3,000人余りの増加となりましたが、これは臨床腫瘍科や皮膚科の入院対応の開始が大きな要素となっています。 次に、延外来患者数は約6,000人の減少となりました。 この点については逆紹介によって地域の連携先に今後のフォローをお願いするなどの取り組みを行った結果、再診患者数が減少した（対R1年度比3,100人余り減）という要因もございしますが、やはり新型コロナウイルス感染症の影響が未だに残っているものと考えられます。 <u>（逆紹介率実績）令和元年度 134.2%→令和5年度 157.6%</u> 手術件数については令和元年度比で14件少ない状態ですが、ほぼ同水準まで持ち直してきている状況と考えています。 人口減など、患者数等の回復に向けて当館を取り巻く環境は厳しい状況ですが、今後も引き続き連携医療機関へのマーケティング活動の強化や、DPC 期間IIを基準とした適切な病床運営を行うことで、上記の指標の回復も踏まえて安定的な経営を目指していきたいと考えています。</p>	項目	①R元年度	②R2年度	③R3年度	④R4年度	⑤R5年度	⑤-①比較	延入院患者数	139,900人	122,189人	134,128人	141,695人	143,082人	3,182人	延外来患者数	178,261人	157,203人	169,648人	173,296人	172,287人	-5,974人	逆紹介率	134.2%	150.3%	140.8%	146.3%	157.6%	23.4%	手術件数	5,910件	5,144件	5,408件	5,668件	5,896件	-14件
項目	①R元年度	②R2年度	③R3年度	④R4年度	⑤R5年度	⑤-①比較																															
延入院患者数	139,900人	122,189人	134,128人	141,695人	143,082人	3,182人																															
延外来患者数	178,261人	157,203人	169,648人	173,296人	172,287人	-5,974人																															
逆紹介率	134.2%	150.3%	140.8%	146.3%	157.6%	23.4%																															
手術件数	5,910件	5,144件	5,408件	5,668件	5,896件	-14件																															

報告書 ページ	質問内容	回答
39	<p>「<u>コンプライアンスの徹底、患者・家族への誠実かつ公平な対応、個人情報保護等に努めること。</u>」について</p> <p>個人情報保護について、職員さんに対し誓約書の提出を求めており、個人情報の持ち出し等に対処していることはわかりませんが、不正アクセスやハッキングなどのネットワーク上の脅威に対する対応はできていますか。</p> <p>サイバー攻撃による情報流出のニュースをよく耳にしますし、医療機関が保有する個人情報はセンシティブな内容を多く含みますので、強いセキュリティシステムの導入やデータの暗号化などの対応をしておられましたら、教えてください。</p>	<p>・基本的には、ネットワーク関連のセキュリティ対策として厚生労働省が示す「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第 6.0 版」(令和 5 年 5 月)に沿った対策をとっています。</p> <p>好生館では、病院情報システムの利用について、2 要素認証 (ID/PW+指紋認証又は ID/PW+ワンタイムパスワード) を導入し、不正アクセスを防止しています。</p> <p>また、システムの基盤サーバへのリモートデスクトップ接続についても、過去の事例を基に、環境変更の影響が少なく、有効性が高いと思われる次の対策を実施しています。</p> <p>①既存の RDP ポートの変更</p> <p>一般的に使用されるリモートデスクトップ用のポート番号から任意のポート番号に変更することで、不正アクセスを困難にさせる対策を実施</p> <p>②Windows 資格情報の保存確認</p> <p>Windows 資格情報の保存とは、サーバ等にログインする際に必要となるユーザー名・パスワードを保存または省略可できる機能であるが、それを悪用し、窃取される可能性があるため、リモートアクセスを実施しているベンダーに対して、不要な Windows 資格情報を削除させ、情報窃取を防止させる対策を実施</p> <p>③アカウントロックアウト設定</p> <p>windows active Directory にて、アカウントロックアウトの設定を行うことで、アカウントへの総当たり攻撃を防止する対策について、作業を進めています。</p>